



お子さまの予防接種について



* 予防接種を始めましょう

お子さまが健やかに成長していくには、感染症から身を守ることが必要になります。そのために予防接種を受けることは、とても大切なことです。

予防接種を受けずに感染症にかかると、重い後遺症が残ったり、ときには命にかかわることもあります。また、周囲に感染を広げることにもなります。そうならないためにも、接種対象月齢になったら、積極的に予防接種を受けましょう。

* 定期接種と任意接種

法制度上、予防接種は定期接種と任意接種に分かれています。

定期接種は、予防接種法に基づいて、市町村の責任で行われるもので、対象の方は、予防接種を受けるように努めなければならないこととされています。予防接種の種類や接種年齢も決まっています、対象年齢であれば原則無料で接種できます。

任意接種は、有料です。接種を受けるかどうかの判断は接種を受ける方に任されていますが、医学的には定期と任意で予防する病気の重さに違いがあるわけではありませので、感染症の流行状況やお子さんの体調等を考慮し、医師と相談し、接種をするか判断してください。

任意接種の主なもの

ワクチン	受ける時期・回数を目安
ロタウイルス	生後6週から接種可能 ワクチンの種類によって回数が異なる ロタリックス(1価): 4週間以上の間隔をおいて、 生後24週までに2回経口接種 ロタテック(5価): 4週間以上の間隔をおいて、 生後32週までに3回経口接種 令和2年10月1日より令和2年8月1日生まれ以降の方より、定期予防接種になる予定です。
おたふくかぜ	1歳以降に1回または2回(2回接種することでより免疫効果が高くなると言われています)
インフルエンザ	2回: 2~4週間の間隔をおいて2回接種 (生後6か月または1歳以降、受けられます)

任意接種のワクチンについては取り扱っているかどうか医療機関に各自でご確認ください。

* ワクチンの種類

予防接種で使用するワクチンはその製法から大きく2種類あります。

種類	製法
生ワクチン	生きた細菌やウイルスの毒性を弱めたワクチン
不活化ワクチン	細菌やウイルスを殺し免疫を作るのに必要な成分を取り出して毒性をなくしたワクチン

裏面は、予防接種の計画を立てるときの注意事項について記載しています